

笑顔いっぱいの学校



かけはし

第 1 号

平成28年5月 1日

ふるさと智恵文に誇りをもつ輝く智小っ子を「地域ぐるみ」で育てましょう

平成28年度 夢, 希望あふれる新学期のスタートにあたって

智恵文小学校長 川崎直人

出会いの月、4月。7日には、子どもたちが1学年上に上がった喜びを胸に目を輝かせながら登校してきました。新学期のスタートです。「おはようございます!」と先生方、友達と元気にあいさつを交わしながら新しい教室に足を踏み入れる子どもたちの姿から、これからの新しい学校生活に夢や希望をふくらませて登校してきたことが痛いほど伝わってきます。また、着任式、始業式での子どもたちの表情、言葉、行いから本校の合い言葉「かしこく やさしく たくましく」が染みわたっていると感じました。そして入学式。新1年生4名は、多少緊張しながらも晴れやかに入学式に参加し、最後まで姿勢良く話を聞き、自分の名前を呼ばれたときは大きな声でとしっかり返事をして、大変立派だったと思います。よき伝統を確かに引き継ぎ、一人ひとりの子どもが楽しく学び明日の登校が待ち遠しく感じられる学校づくりのため、安心・安全な環境づくりと保護者、地域の皆様に信頼される学校づくりに邁進していかなければならないと心が引き締まる思いがいたします。

古くから「教育は人なり 人は心なり 心は愛なり」と言われる通り、夢と希望をふくらませ、元気に新学期をスタートした30名の子どもたちに、「教育愛」に基づいた指導を行っていきたいと考えます。新学期が始まってからこれまで、休み時間に学年の枠を超えて仲良く遊ぶ姿や1年生に対しての温かい高学年の言葉かけなど、思いやり、優しさが感じられる姿を数多く目にしてきました。これも今まで学校と家庭が連携を深め信頼関係を築きながら推進してきた教育の賜であると思います。

学校と家庭はよく車の両輪に例えられますが、一人ひとりの子どもを社会のより良い一員として育てる使命をもつ教育の成果を高めていくため、保護者の皆様方のご理解とご協力をこれまで同様いただきますよう、お願い申し上げます。

お陰様で、地域・保護者の皆様に支えられて、30名の子どもたち全員、事故や大きなけがをすること無く、日々よく学び、よく遊び元気に学校生活を送っております。今後とも、智恵文小学校の子どもたちに温かい言葉、目、手をかけていただければ大変有り難いと思います。今年1年間、どうぞよろしく願いいたします。



▲入学式1年生入場